

STEP 2 健康課題の抽出

No.	STEP1 対応項目	基本分析による現状把握から見える主な健康課題		対策の方向性	優先すべき 課題
1	ア, イ	ア 一人当たり医療費について、全支部の平均を下回っている。 イ-1 疾病別では、高血圧、糖尿病、その他内分泌栄養代謝疾患、脂質異常症の順に高い。 イ-2 全支部に比べ、糖尿病、その他内分泌栄養代謝疾患、その他の脳血管疾患にかかる費用が高い。	➔	生活習慣病の予防及び重症化予防を進める。	
2	ウ, ス	ウ 健康状況は、全支部に比べて血圧のリスク者の割合が組合員・被扶養者共に高い。 ス 高血圧であるが受診しない異常値放置者のうち、Ⅱ度高血圧者の割合が全支部平均よりも高い。	➔	生活習慣の改善を促す。受診勧奨をする。	
3	エ, ソ	エ 健康状況は、全支部に比べて脂質のリスク者の割合が組合員・被扶養者共に高い。 ソ 3 疾病受診がなく、LDL区分160以上の者がおり、異常値放置者となっている。	➔	生活習慣の改善を促す。受診勧奨をする。	
4	オ, セ	オ 健康状況は、全支部に比べて血糖のリスク者の割合が組合員・被扶養者共に高い。 セ 3 疾病受診がなく、HbA1cが6.5以上の者がおり、異常値放置者となっている。コントロール不良者の割合が全支部平均よりも高い。	➔	生活習慣の改善を促す。受診・セカンドオピニオンを勧奨する。	
5	カ, キ	カ 健康状況は、全支部に比べて肝機能のリスク者の割合が組合員・被扶養者共に高い。 キ 健康状況は、全支部に比べて腎機能のリスク者の組合員の割合が高い。	➔	生活習慣の改善を促す。受診勧奨をする。	
6	ク	ク 生活習慣では食生活・運動習慣・20歳からの体重変化においてリスク割合が高い。	➔	生活習慣の改善を促す。	
7	ケ, サ	全支部に比べて、組合員・被扶養者共にほとんどの性・年齢階級で特定健康診査の実施率が低い。	➔	受診勧奨をする。	✓
8	コ, シ	全支部に比べて、組合員・被扶養者共にすべての性・年齢階級で特定保健指導の実施率が低い。	➔	受診勧奨をする。	✓

基本情報

No.	特徴		対策検討時に留意すべき点
1	女性加入者の割合が高い。	➔	女性の器官別検診に重点を置く必要がある。

2 40歳以上の加入者がの割合が高い。



特定健康診査、特定保健指導の対象者である。

保健事業の実施状況

No.	特徴		対策検討時に留意すべき点
1	組合員が職場の仲間とともに健康づくりに自主的に取り組めるよう、3人1組で約一カ月の歩数を競うウォーキンググランプリを開催。	➔	生活習慣の改善のきっかけとして運動が習慣化するようイベントを開催する。趣旨の周知等事業主の協力が必要。事業主に対し、組合員の健康状況の説明が必要。
2	人間ドック等の受診費用補助及び、被扶養者等に受診券を配付することで、生活習慣病リスクの早期発見の機会提供を行う。 人間ドック・定期健康診断の結果を受領することで、特定保健指導をはじめとした各種予防対策を必要とする者を的確に選別する。	➔	特に特定健康診査の対象年齢層への趣旨説明・周知等事業主の協力が必要。
3	対象者毎に必要な指導及び助言を行うことで生活習慣病への移行を防ぐ。 組合員は巡回式の保健指導を実施し、被扶養者及び任意継続組合員は医療機関で利用できる利用券を配付。	➔	特定保健指導の必要性について趣旨説明・周知等事業主の協力が必要。